

カーFMステレオ トランシッター

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

DCC-FMT3

© 2005 Sony Corporation Printed in China

保証書

持込修理

品名	カーFMステレオトランシッター
型名	DCC-FMT3
お買い上げ日	平成・西暦 年 月 日
本書は、本書記載内容(下記記載)で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、お客様欄にご記入の上、修理をお申付けください。	
販売店	

お問合せ先：修理相談窓口
フリーダイヤル：0120-222-330 (FAX 0120-333-389)
携帯電話・PHS・一部のIP電話からは、0466-31-2531

ホームページ：<http://www.sony.jp/support/>
ソニーマーケティング株式会社 東京都港区港南1-7-1 〒108-0075

保証期間	お買上げの日から 1年
お客様住所	電話 - -
お名前	様

無料修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品(ハードウェア)が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別(出張修理、持込修理、引取修理)をご確認の上、以下の要領でご依頼および本書(再発行しません)の、大切に保管してくださいの提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口の種類は、(1)お買上げの販売店、(2)お近くのソニーサービスステーション、(3)本書に記載の修理相談窓口の3種類です。

種別	受付窓口	保証書の提示・提出	注意事項
出張修理	(1)(2)(3)	出張修理担当者が訪問した際に提示	※1
持込修理	(1)(2)	持参した製品の修理依頼の際に提示	※2
引取修理	(3)	製品の引取時に指定業者へ提出	

※1 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理となる場合、出張費用(実費)を申し受けます。

※2 (1)(2)へのご依頼が難しい場合は、(3)にご相談ください。

2. お客様のご要望により、出張修理の種別について引取修理を、持込修理の種別について出張修理・引取修理を、引取修理の種別について出張修理を行う場合は、別途所定の料金を申し受けます。

3. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。

(1)本書のご提示がない場合 (2)本書のお買上げの年月日、お客様名、販売店名を書き換えた場合 (3)お買上げの年月日、販売店が確認できない場合

(4)保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合 (5)使用上の誤り(取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む)による故障・損傷 (6)他の機器から受けた障害または不当な修理・改造による故障・損傷 (7)お買上げ後の移設・輸送・落下などによる故障・損傷 (8)火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障・損傷 (9)業務用など一般家庭用以外での使用による故障・損傷 (10)消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換

4. 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

5. 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。

6. 本書に基づく無料修理(製品交換を含む)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。

7. 故障によりお買上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。

8. 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。

9. 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理メモ

*本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

*保証期間後の修理については、取扱説明書等をご覧ください。 TO2-1

△警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。

道路交通法に従って安全運転する

運転者は道路交通法に従う義務があります。前方注意をおこたるなど、安全運転に反する行為は違法であり、事故やけがの原因となることがあります。

- 運転者は操作をしない。
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞く。

定期的に点検する

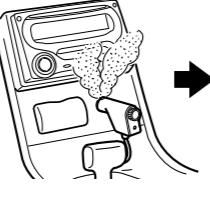
1年に1度は、本体が傷んでいないか、配線したケーブル類がからまっているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本体やケーブル類が破損しているのに気づいたら、すぐにお買上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- 安全な場所に車を止める
- シガレットライター・ソケットから本機を取り外す
- お買上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

△注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



火災

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止

△警告

下記の注意を守らないと、**火災・感電により死亡や大けがの原因となります。**



火災



感電

運転操作や車体の可動部を妨げる取り付けはしない

運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をすると、事故や感電、火災の原因となります。

- ネジやシートレールなどの可動部にケーブル類をはさみ込まない。
- ケーブル類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



禁止

雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。



禁止

分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。本機内部の点検や修理はお買上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

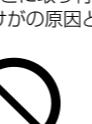


禁止

△注意 下記の注意を守らないと、**けがを自動車に損害を与えることがあります。**

安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



禁止

規定容量のヒューズを使う

ヒューズを交換する時は、必ずヒューズに記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



禁止

本体を座布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



主な特長

本機(カーFMステレオトランシッター)は、HDD/フラッシュメモリー/MD/CDウォークマンなどのポータブルオーディオ機器の再生音を、カーステレオ(カーFMラジオ)へFM電波で送信します。このFM電波をカーFMラジオで受信することにより、ポータブルオーディオ機器の再生音を車の中でも楽しめます。

安定したクリアな音声を実現

- フレキシブル送信アンテナを採用することにより、車種を限定せず、安定したFM電波送信を実現します。
- 送信周波数選択回路にデジタル方式を採用することにより、アナログ方式で起こる送信周波数のズレを防止します。

周波数選択ダイヤルによる簡単操作を実現

送信FM周波数を14チャンネルから選ぶことができます。

多くの車種に設置可能なスマートフォルムを実現

本体ヘッド部の小型化に加え、シガレットライターソケットの周りの障害物を避けて設置できるスマートフォルムを実現しました。

電池不要

- シガレットライター(カーバッテリー)を電源として使用します。
- 12Vと24Vのカーバッテリーに対応しているので、普通自動車から大型車まで幅広い車種で使用することができます。(12/24V自動切換、マイナスアース車専用)

"ウォークマン"、"WALKMAN"はヘッドホンステレオ商品を表すソニー株式会社の登録商標です。

主な仕様

送信方式

マルチプレックスステレオ方式

送信周波数

76.8MHz, 77.0MHz, 77.2MHz,

電界強度

77.4MHz, 77.6MHz, 77.8MHz,

電源電圧

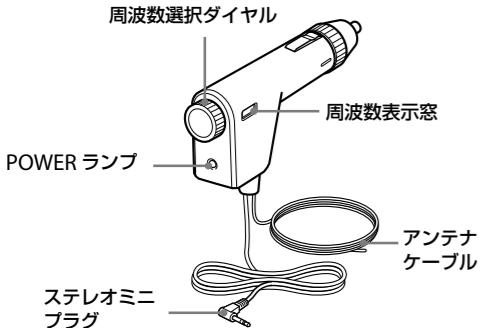
78.0MHz, 88.0MHz, 88.2MHz,

入力端子

88.4MHz, 88.6MHz, 88.8MHz,

最大外形寸法

各部の名称



接続のしかた

カーラジオを設定する

1 カーラジオを FM 放送が受信できるよう状態にする。

2 下記の中から放送を受信していない周波数を選ぶ。

76.8 MHz, 77.0 MHz, 77.2 MHz, 77.4 MHz, 77.6 MHz, 77.8 MHz, 78.0 MHz, 88.0 MHz, 88.2 MHz, 88.4 MHz, 88.6 MHz, 88.8 MHz, 89.0 MHz, 89.2 MHz

別の地域に移動した場合、選んだ FM 周波数で放送を受信してしまうことがあります。このような場合は、放送を受信していない FM 周波数を再度お選びください。

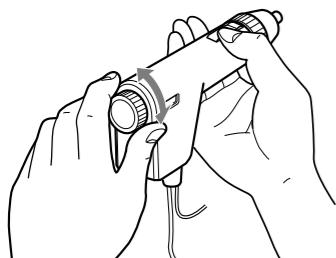
ご注意

• カーラジオの設定方法に関しては、カーラジオの取扱説明書をご覧ください。

• カーラジオの音量は、なるべく小さい音量に設定しておいてください。

本機を設定する

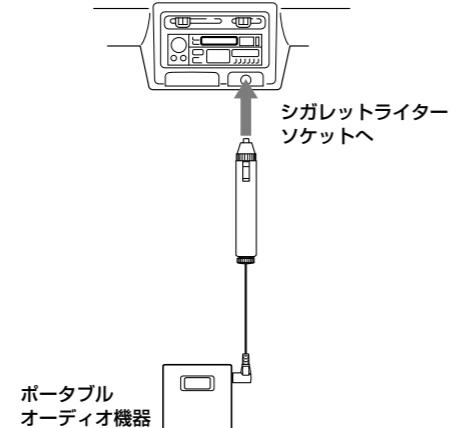
1 周波数選択ダイヤルを回して、カーラジオで設定した周波数を選ぶ。



（一）表示は低い周波数帯と（76.8 MHz～78.0 MHz）高い周波数帯（88.0 MHz～89.2 MHz）の間の区切りです。周波数選択の目安としてご使用ください。

2 ステレオミニプラグをポータブルオーディオ機器のヘッドホン（）端子に差し込む。LINE OUT（ライン出力）端子に接続した場合、本機への音声入力が大きすぎるため音がひずんしまう場合があります。

3 車のシガレットライターソケットに本機を差し込む。



本機からの受信状態が悪くなったときは

最初に設定した周波数では受信状態が良好であったにもかかわらず、走行中に受信状態が悪くなったときは、次のように考えられます。状況に応じた対処を行ってください。

設定を終えた後、走行し始めたら受信状態が悪くなった

→ 地下駐車場やビルの影など、カーフMラジオでFM放送を受信しにくい場所があります。そのような場所でカーフMラジオと本機の設定をしたため、走行中にFM放送の受信状態がよくなり、設定した周波数がFM放送の影響を受けて、本機からの受信状態が悪くなつたと考えられます。

このような場合は、FM放送の受信状態がよい場所で、再度、FM放送を受信していない周波数を選び、カーフMラジオと本機を設定してください。

車で移動するに従って受信感度が悪くなつた

→ FM放送は地域によって受信する周波数が異なります。移動した地域で、本機に設定した周波数でFM放送を受信できる場合は、その放送の影響を受けて、本機からの受信状態が悪くなることがあります。

このような場合は、移動した地域で、再度、FM放送を受信していないFM周波数を選び、カーフMラジオと本機を設定してください。

ときどき音が途切れたり、ノイズが入ったりして聞きづらくなつた

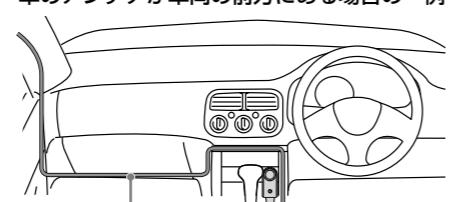
→ 都心部や市街地では、FM放送局やミニFM放送局、アマチュア無線などの影響を受けて、本機からの受信状態が悪くなり、音が途切れたりノイズが入ったりする場合があります。このような場合は、再度、影響の少ないFM周波数を選び、カーフMラジオと本機を設定してください。

ご注意

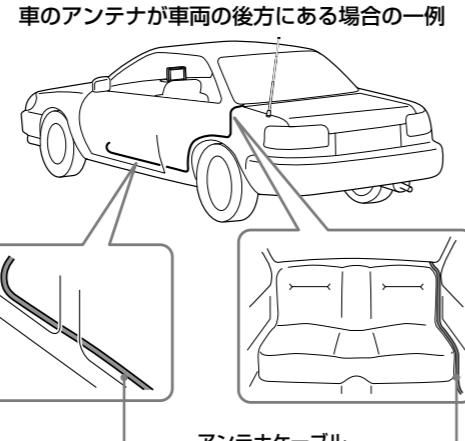
• 受信状態が悪い場合は、アンテナケーブルを車のアンテナ近くになるように設置すると受信が良くなることがあります。

• 車のアンテナ位置は車の取扱説明書をご覧ください。

車のアンテナが車両の前方にある場合の一例



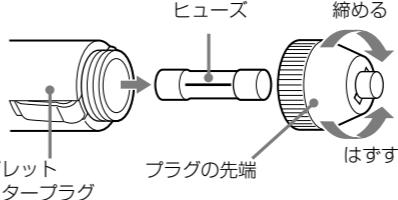
車のアンテナが車両の後方にある場合の一例



2つのイラストは、一例でありご使用になる車の状況により送受信状態が変わります。最良の受信状態になるようアンテナケーブルを設置してください。

ヒューズの交換

本機が正常に動作しない場合は、シガレットライタープラグ内部のヒューズが切れていないかを確認してください。



1 シガレットライターソケットから本機を抜く。

2 プラグの先端部分を回してはずす。

3 ヒューズを取り出す。

4 ヒューズが切れていないか確認する。

切れている場合は、手順5へ

切れない場合は、手順6へ

5 新しいヒューズを用意する。

市販の同じ定格のヒューズ

（1 A 12.5 V、長さ約 20 mm）をお求めください。

6 ヒューズを差し込む。

7 プラグの先端を元通りにしっかりと締める。

ご注意

• 定格の異なるヒューズをご使用になると故障や火災の原因になります。

• ヒューズを針金などで代用しないでください。

• ヒューズを交換したあとも、再び切れるような場合には、お買い上げ店にご相談ください。

故障かな？と思ったら

症状	原因/処置
----	-------

• 本機がシガレットライターソケットやポータブルオーディオ機器がカーラジオから聞こえない
→ 正しく接続する。

• 本機で選んだ送信周波数とカーフMラジオの周波数が一致していない
→ 本機の送信周波数とカーフMラジオの周波数を一致させ、送受信可能な状態にする。

• 接続したポータブルオーディオ機器からの音が出ていない
→ ポータブルオーディオ機器を再生状態にする。
→ 音がひずまない範囲でポータブルオーディオ機器の音量を上げる。

音が小さい
• 接続したポータブルオーディオ機器の音量が小さい
→ 音がひずまない範囲でポータブルオーディオ機器の音量を上げる。
それでも音が小さい場合は、カーフMラジオの音量を上げる。

音がひずむ
• 本機への音声入力信号が大きすぎる
→ ポータブルオーディオ機器のLINE OUT（ライン出力）端子に接続している場合は、ヘッドホン端子に接続する。

• 接続したポータブルオーディオ機器のバスブースト機能を使用している
→ ポータブルオーディオ機器のバスブースト機能を解除する。

雑音が入る
• 本機で選んだ送信周波数とカーフMラジオの周波数が一致していない
→ 本機の送信周波数とカーフMラジオの周波数を一致させ、送受信可能な状態にする。

• カーフMラジオの受信状態が悪い
→ カーフMラジオでの受信状態が良くなるように本機アンテナケーブルを車内に設置する。（車のアンテナの近くになるように設置すると受信状態が良くなることがあります。）

• 選んだ周波数が放送に使用されている
→ 放送を受信していない（「サー」という音しか聞こえない）周波数を選ぶ。

• 別の用途や妨害電波の影響を受けている
→ 別の用途で使用していない、または妨害電波の影響の少ない（「サー」という音しか聞こえない）周波数を選ぶ。

音が途切れる
• 市街地などで妨害電波の影響を強く受けている
→ 妨害電波の影響の少ない（「サー」という音しか聞こえない）周波数を選ぶ。

POWER ランプが点灯しない
• 本機がシガレットライターソケットへ正しく接続されていない
→ 正しく接続する。

• エンジンをかけないと通電状態にならない車種である
→ エンジンをかける。

• ヒューズが切れている
→ ヒューズを交換する。